

目黒会 令和4年度(2022年度) 首都圏総支部役員会(第六回)議事録(配信用)

作成：2022年11月26日

作成：竹田

1. 日時 2022年11月26日(土)13:20～15:40

2. 場所 ZoomによるWeb会議

3. 出席 敬称略、()内は欠席

総支部長 竹田 智彦

副総支部長 (水戸 和幸) (山崎 成) 宮澤 信一郎 (細井 淳司)

会計担当 (中里 明子)

監査担当 (渡辺 一夫)

幹事 (篠原 力) 岩本 茂子 増田 悦夫 (西野 幸博) 來住 直人 (久間由利子)

小出 昌寿 (渡辺 和典) 岡村 衡 (大島 成喜) (島崎 俊介)

顧問 今井 高介 傘 義冬

以上 出席者 9名

4. 議題

①秋の交流会と北部地区分会総会を振り返って(竹田)(山崎さん)

②今後の予定(竹田) 1/21(土)役員会&新年会、3-4月母校の桜を見る会

③支部規程改訂について

4. 1 秋の交流会と北部地区分会総会を振り返って(竹田)(山崎さん)

担当：山崎、宮澤、増田、渡辺和、大島・竹田(秋の交流会としての担当)

(1) 参加状況 詳細は資料「1_2022年度秋の交流会出席者名簿(内部用)rev3.1」を参照

・全体 (当日/申し込み)

現地：14/14名出席、Zoom：14/20名出席、合計：28/34名出席

現地懇親会：11/11名出席

・北部地区分会総会出席者計 25

1)北部地区分会会員 10

地区内会員 7

地区外会員 3 ※東京都2(山崎さん、傘さん)、長野県1(今井さん)

2)オブザーバ 15

首都圏総支部 11

関西総支部 2

四国支部 1

米国支部 1

(2) 実施内容 別紙「2_2022年度秋の交流会_北部地区分会報告書案改3.1」

及び「3_2022年北部地区分会総会議事録 rev4」参照

以上を確認した。

(3) 感想、反省、今後の課題等

山崎さん：

- ・ 来年は群馬県では是非、現地イベントを開催したいと思います。
- ・ 山森さんに北部地区分会長をお願いしてみたいと思っております。
- ・ ハイブリッド開催は、参加者に気軽に参加を促せるので、大変だと思いますが、次回以降も何かしら

検討して頂ければと思います。

久間さん：

- ・組織担当としては、出席者の確認でハンドルネームのままの方が2名いらっしゃいました。チャットでお名前修正をお願いするも返信がなかったため参加時間帯とハンドルネームから出席者を推定しています。
- ・秋の交流会での講演は、スタジオから中継という形で大変興味深く拝聴いたしました。
- ・講演に引き続いての懇談会は、講演のみで退席された方がいましたが全員の近況を聞くことが出来て良かったです。
- ・現地参加の14名は全員懇談会出席ですが、リモート参加の方は14名のうち懇談会出席は5名だけでした。リモート参加の方も講演後の懇談会をハイブリッドで楽しめるような企画が必要かなと思いました。

中里さん：

- ・ハイブリッド方式では、会場の様子もリモート参加者に映るようにカメラが配置されていてよかったと思います。機器構成の図がありましたら、私も参考にしたいです。
- ・NHK 川崎さんのお話は、とても興味深い内容でした。局のニューススタジオからお話して下さるなども驚きました。ただ、こんなに面白いお話を、これだけの人数だけで聴いたのはもったいないなあという気持ちがありました。卒業生の話は、現役生が聴いてもとても面白い内容だと思うので、学生や、大学教職員の方々へのお知らせ方法を考えていきたいと思いました。
- ・会計からですが、今回は、13時集合との事だったので昼食代は自己負担としてしまいましたが、設営・準備など行う役員には、全額でなくても、お昼代補助とかお出ししたほうが良いかなと思いました。

岩本さん：

- ・川崎さんの講演が良かった。放送局内も拝見できて良かった。
- ・参加人数も多く良かった。
- ・対面懇親会は良かった。

増田さん：

- ・特別講演会は普段聞けないようなことも聞けて良かった。話題的に興味深く良かった。懇談会も進行役として皆さんの話を聴けた。電波に電力を載せたり、PCで数値積分をされたり、千差万別で楽しかった。
- ・乾杯の音頭を失念したので繰り返さないように気をつけたい。進行のチェック係もあると助かるかも。
- ・懇談会に茨城出身の方がいた。茨城に北部地区分会の幹事がいると助かるので期待したい。

宮澤さん：

- ・無事に終わって良かった。川崎様、皆様お疲れさまでした。
- ・懇談会で皆さんが頑張っているのを聞いて元気が出た。

來住さん：

- ・懇談会は皆で一人一人が話したが、全体で会話できる機会があると良かった。

小出さん：

- ・特に反省点はなし。川崎さんの話が良かった。
- ・首都圏の総会よりもこじんまりしていてスマートで良かった。

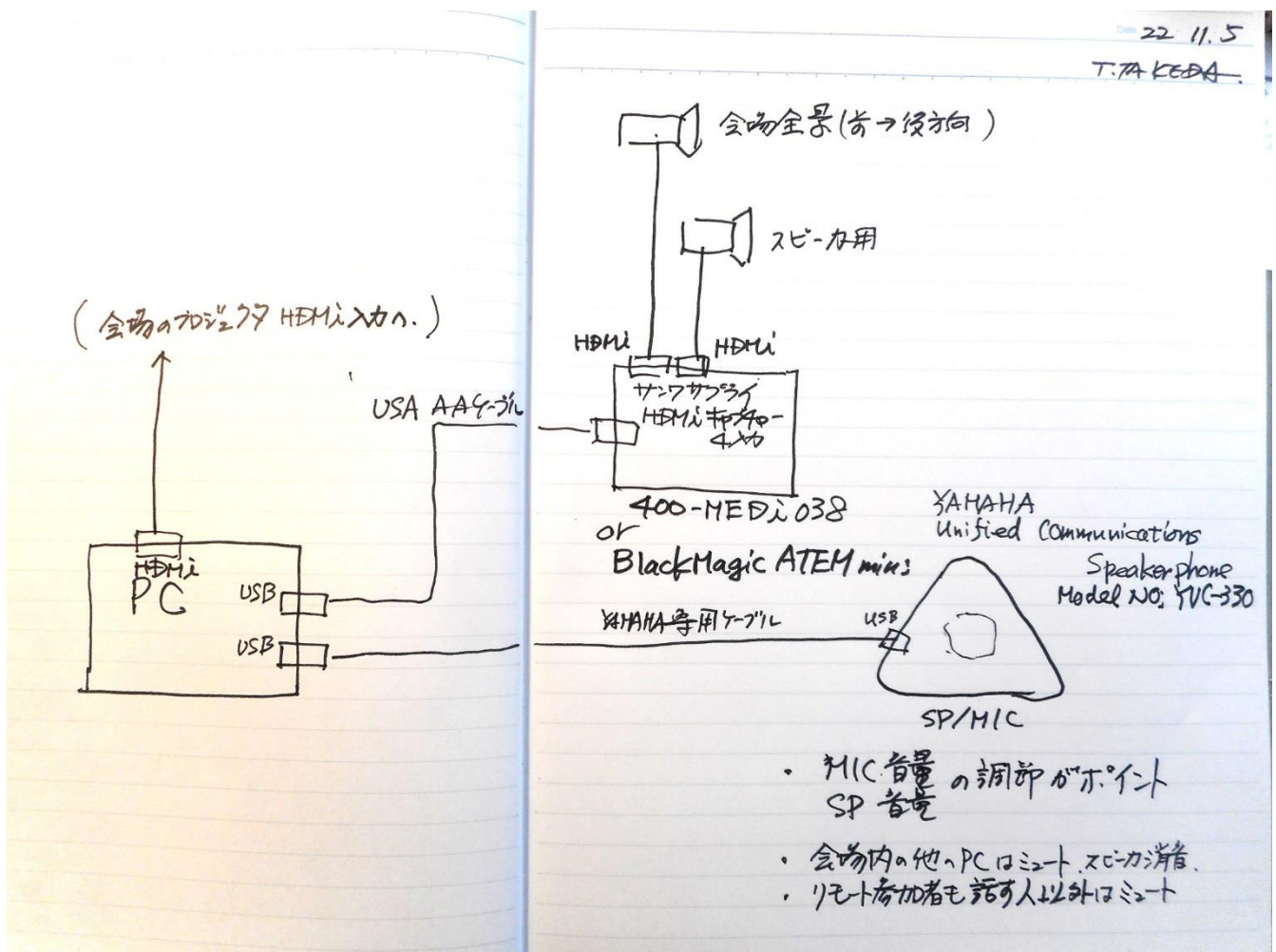
今井さん：

- ・現地対面のできるように考えてほしい。
- ・北部地区分会と秋の交流会は一緒に行く必要はなく、別に開催した方が良いのではないかな。
- ・旅行の全国割があるので来年再開の予定。活用して開催してほしい。

竹田：

- ・たくさんの方の努力の積み重ねで成功裏に終わることができたと感謝しております。
- ・ハイブリッドで Zoom 中継する機材の設定に関してはかなり慣れてきた。しかし、今回スイッチャーを通した画像の縦横比が変わって細長の画像になってしまったので、原因追及して改善したい。
- ・音声に関しては問題なく、これもリハーサルで確認できたためと思う。
- ・ぜひ次回は温泉につかって交流できるようにしたいです。

(参考) Zoom ハイブリッド中継時の機器接続図



4. 2 今後の予定(竹田)

(1) 第7回役員会&懇親会

日時 1月21日(土) 役員会 15:00-17:00 終了後、懇親会を予定

場所 新宿 椅子席 の会議室、お店 を探してみる。

内容 ①母校の桜を見る会について ②今後の予定 ③懇親会

(2) 母校の桜を見る会について・・・岡村さんと日程案含め事前調整して1月提案

4. 3 国内支部規程改訂について

- ・質問、意見 11/30(水)までに竹田まで。
- ・首都圏総支部長として提出済の質問、意見

【意見質問等】

- ・規程にどのようなものがあるかわからない。範囲を限定してでもよいので閲覧できるようにすべきだ。
- ・支部に関与していない方々で決めていることが問題。
- ・支部委員会は前年度は年一回しか開かれておらず、その前にも支部に関する規程が支部委員会なしに改訂されている。支部委員長(会長兼務)で決定されるのであれば支部委員会自体の存在が問題。
- ・支部委員長を会長が兼務しているのは問題。
- ・支部支援金も現在は各支部繰り越しが多いので困っていない、不要。
- ・1. 目黒会の諸規則の変更の際の手続きが決まっていたと思います。

(この項、前規則委員長の岩本のコメント) 各規則ごとに、それを所管する部署(委員会)があって、そこで変更の検討がなされ、その後、規則委員会にそれが諮られ文言等のチェックをし(場合によっては差し戻しがあり、それを繰り返して)、その後理事会に上程されて変更が承認されるというものです。事務局内の内規ならともかく、支部規程が支部委員会の関与なしに変更が上程されるなんて考えられません。支部委員会もそうですが、規則委員会も委員会を開いて検討したのでしょうか?

- 2. 目黒会が一般社団法人としての認可を受けているのは東京都だと思います。(認可か認定かやや不確か)(この項、元・目黒会一般社団法人移行タスクフォースのメンバとしてのコメント) ですので、全国に散らばっている支部に関しては、目黒会本部と緩やかな連携を持った組織であるという位置づけだったと思います。支部名には一般社団法人目黒会を頭につけず、目黒会首都圏総支部のように名乗ることだったと記憶しています。支部まで一般社団法人の中に入れてしまうと、会計報告とかも厳密に行う必要があるなど大変になるのでそれはしないという位置づけだったと思います。ですので、古川さんのメールにあった次の文がよく分かりません。

- > 目黒会は、2013年に一般社団法人に移行し、来年で10年を迎えます。今後、法人格としての存在をゆるぎないものにするために、目黒会本部ばかりでなく総支部、支部及び分会の運営について、会としてのガバナンスを遵守した運営が要求されます。

そのあたりの説明をしてもらって、支部委員会や規則委員会のメンバ、理事会が十分な議論をして、納得する必要があると思います。

以下は、今の岩本が国内支部規定(案)と新旧対照表をざっと目を通してのコメントです。

- ・目黒会の実質的な活動は支部活動だと思っています。かつ、支部によって状況が大きく異なると思っています。その支部活動をやりにくくしてしまう規程の改定はよくよく注意する必要があると思います。分会は支部に任せるくらいがいいのかと思います。分会設置時に正会員30名以上なんて無理筋ではなからうか。現住所に関してももっと緩くてもいいと思う。現に東京(神奈川?)在住の先生が、じぶんは長野に何年間か居たから長野支部員だとおっしゃっていたり、四国支部では、四国在住だけでなく、四国に愛着を持ってきている人も支部員だと支部規則にあると言っていました。なるべくそれぞれの支部がやりやすいようにしておくのがいいと思います。地域ごとの会員数を明確に把握するのは、現住所を確認すればできることなので、それはそれで行えばいいと思います。
- ・支部委員会で何回も議論を重ねた上で、規則委員会に支部規則ドラフトを送付し、規則委員会でコメントをいただき、最終的に理事会で審議してもらいました。これが、最初のバージョンです。その後の修正、変更に関しても、支部委員会で議論すべき内容だと解釈しています。各支部は支部規則に書かれている以外の行動は、理事会承認無しではできないルールだと思います。これは、海外支部も同様です。

注:現在のルールはどうなっているかしっかりと書面で確認すべきかと思います。

・私の認識も、元規則委員長と同じ認識です。

支部委員会で何回も議論を重ねた上で、規則委員会に支部規則ドラフトを送付し、規則委員会でコメントをいただき、最終的に理事会で審議してもらいました。これが、最初バージョンです。その後の修正、変更に関しても、支部委員会で議論すべき内容だと解釈しています。各支部は支部規則に書かれている以外の行動は、理事会承認無しではできないルールだと思います。これは、海外支部も同様です。

- ・支部規程から各支部の規程の逸脱の有無を確認してから議論すべき。
- ・総会時のお祝い金(助成金)は続けてもらうとして、それ以外の支援金はやめてもよいのではないかな。
- ・山梨、新潟が首都圏の範囲に入っているが誰がまとめていくのかということを考えているのかな。
- ・首都圏北部地区はこれからというときだが、盛り上げていく雰囲気ではない。
- ・中国地方支部には分会が2つあるが活動できていない。
- ・分会は本部から関与しないことになっている。
- ・海外支部はメキシコを最近作ったが活動できていない。海外は正会員何名という規程がない。米国は日本人が中心で運営しているので活動できている。
- ・支部委員会を開いて議論をしてから結論を出すようにすべきではないかな。
- ・役員は原則として地域内である方が良いが、分会長は住所要件を問わないことにするなどフレキシブルな対応ができるようにした方が持続可能性が増えてよいのではないかな。
- ・元・事務局長から：(11/27 追記)

元・国内支部委員長や皆さんが疑問に感じるように私も起案が事務局というのは根本的に間違っていると思います。

三権分立で言えば事務局は行政機関であり立法機関ではありません。

内容的にも目黒会の活動を制限する規定が多く簡単に承認できる内容にも思えません。

規定は目黒会活動にプラスに働くようにし、制限は出来るだけ排除するべきと考えます。

(参考)

=====
送付内容 Fri, 25 Nov 2022 23:47

規則委員会委員長 古川浩規様

事務局長 松島様

首題の件、前回理事会で国内支部委員会を開いて事前に合意形成をするなり、事前に各支部長の意見を聞いたうえで審議に臨んでいただきたいという小生の意見を尊重して頂いての対応ありがとうございます。

首都圏総支部内にてこれより改訂案に対して検討をさせていただきますが、今年度の支部総会、分会総会も終わっており新しい体制が決まったばかりでありますので、取り急ぎ進め方に関して以下2点の質問と3点の意見を申し上げます。改訂内容に対する質問意見は別途提出致します。

【進め方に関する質問】

1.国内支部規程の管轄が組織委員会が廃止されたので組織委員長(規程運用は支部委員長)から規程委員会委員長に変更となっておりますが、支部委員長にしなかったのはなぜですか。

2. 昨年理事会で支部支援金の申請は支部管轄の地域に住居のある会員とし地域外の役員、会員は対象外とすることで、同一人物を他支部で重複申請することがなくなり会計上の問題はなくなり支部・分会の規程との矛盾もなくなったと考えて

おりますが、なぜ急に改訂の必要が生じたのでしょうか。説明をお願い致します。

【進め方に関する意見】

1.本件は国内支部、分会の運営に直接関わる重要な規程であるので、国内支部長を招集し、対面およびリモートでもよいので全支部参加の中で説明を行い議論をして合意形成をして頂きたい。

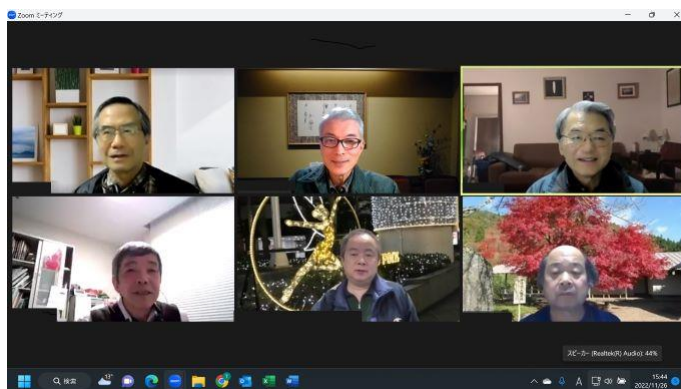
2.規程の内容に関しては別途質問、意見をまとめて提出致しますが、一週という期間では検討時間が不足。急ぎの必要がなければ支部および分会の役員会で意見をまとめるため 60 日の検討期間を設けて頂きたい。(12月でなく3月の理事会で審議) この期間があれば1項の内容を下期支部委員会等で議論することも可能と考えます。

3.規程の変更内容が今年度の支部、分会の総会決定事項に関係する場合総会を開いて支部・分会の規程の改訂、および役員変更等の手続が必要になるので、その改訂内容の施行にあたっては次年度から、もしくは次期総会からとするなど相当の猶予期間を設けて頂きたい。

以上 宜しくお願い致します。 竹田智彦

===== 引用おわり =====

5. 写真撮影(今回は、Zoom 画面のスクリーン・ショット) この他、傘様、岩本様、岡村様参加



以上

No.	活動項目	概要	担当
1	首都圏総支部総会	7月23日(土)15:00-18:00	水戸(運営)、來住(講演)、全役員
2	秋の交流会	11月5日(土)15:00-	山崎、宮澤、増田、渡辺和大島、竹田
3	母校の桜を見る会	2023年3月下旬~4月上旬	岡村、西野、岩本、篠原山崎、島崎
4	北部地区分会総会	11月5日(土)秋の交流会と同時開催	山崎、宮澤、細井、増田渡辺和

No.	活動項目	概 要	担当
5	会計/監査		中里 / 渡辺一、小出
6	顧問		今井、傘
7	組織	動静把握、名簿の整理	竹田、久間、岩本
8	HP 担当	首都圏総支部 Web	水戸、中里
9	役員会 15:00-17:00	2022 年 4 月 9 日(土)、 5 月 7 日(土) 7 月 15 日(金)、 8 月 27 日(土) 10 月 29 日(土)、 11 月 26 日(土) 2023 年 1 月 21 日(土)、 2 月 25 日(土)	竹田 __は対面併用の日

以上